

図・書・紹・介

・当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。  
【貸出しのお約束】・1人5冊まで ・期限：2週間 ・利用時間：9時～17時



『虹の岬の喫茶店』  
森沢明夫／幻冬舎  
1,620円(税込)  
◆映画「ふしぎな岬の物語」の原作本。千葉県明鐘岬に実在する小さな喫茶店をモデルに、そこに集う客と、とびきり美味しい珈琲と音楽を供する女主人との交流を描いた物語。



『セラピスト』  
最相葉月／新潮社  
1,944円(税込)  
◆精神世界の取材を始めた著者は、ある医師から「ならばあなたも自分を知らなければならぬ」と言われる。長い道のりをかけて信頼できる医師に巡り会った著者は、自身の精神疾患の治療を始めることになる。



『上州を彩った女たち』  
石村澄江／群馬出版センター／1,800円(税込)  
◆明治から昭和初期に活躍した本県出身の女性10人について編んだ評伝。婦人運動を支えた新聞記者の大沢豊子、津田塾大の初代学長を務めた星野あいらなどの生涯を郷土史家で群馬ペンクラブ会員の著者が綴った。



図書コーナーをご利用ください

●交流コーナーでは、読書や少人数の打合せなどでご利用いただけます。お気軽にお立ち寄りください。 ●男女共同参画に関するデータや、県内の女性団体による活動発表の展示もあります。ぜひご覧ください。

ひとりで  
悩まないで…  
気軽に  
ご相談を…



とらいあんぐるん相談室

電話 027-224-5210

●相談日と時間

|             | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 13:00～16:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |

・年末年始(12/29～1/3)、祝日は休み ・月曜日が祝日の場合、火曜日も休み

●相談内容●家庭の問題の他、女性の自立や能力の発揮、性差に関する悩みなど…。

女性専用電話相談です。  
相談は無料で秘密は厳守します。

センターのご案内



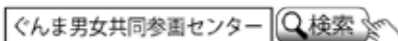
●お車でお越しの際は、県庁内「県民駐車場」をご利用ください。

- 開館時間：火～金 9:00～21:00  
土・日・祝 9:00～17:00
- 休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)  
12月29日～1月3日

〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12

電話 027-224-2211 FAX 027-224-2214

メール sankakuse@pref.gunma.lg.jp



●編●集●後●記●



廃案となった「女性活躍推進法案」が、今国会に再度提出される見込みとなりました。私がセンターに赴任した当時は、「女性の社会進出は男性も動きやすい社会につながる」「女性の登用が進んでいる会社は収益性が高い」などと男の友人に話そうものなら、「おまえ何かにとりつかれたんじゃないか？」と訝られたものでした。今では「女性の活躍」という言葉を、新聞紙面に目にしない日はないくらいの状況です。この2年で随分と変化したものです。

しかし、前回のセンター通信(No.33)の「まめ知識」のコーナーでご紹介したジェンダーギャップ指数をみると、日本は142カ国中104位。我が家でも、炊事、洗濯、清掃…。軒並み低い点数が並び、かみさんの厳しい視線に背中がぞくぞくしそうです。

「言うは易く行うは難し」しばらくは、唯一高得点が得られそうな子育てを隠れ蓑に、成人を迎えた娘や高校生の息子と、大いに遊んで点数を稼ぎたいと思います。(豊)

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センター通信

2015年2月 No.34

～男女共同参画社会の実現を目指し活躍する人たち～

企画 インタビューコーナー 第9回  
とまる かずあき  
一般社団法人ママプロぐんま 代表理事 都丸一昭さんに聞く

ママの笑顔を増やすプロジェクト！ママの活躍を応援します。

スローガンは「ぐんまのみらいを一緒に育てる」

子育てしやすい地域をつくる

住民主体で子育て支援をやっていくためのきっかけ作りを行うのがママプロです。ママプロは、首都圏や大阪、沖縄などにありますが、ママが抱える課題は、住んでいる都市の状況によっても違うので、ママプロぐんまでは、群馬に合わせた形での「産みやすく、育てやすく、活躍しやすい環境づくり」に取り組んでいます。

スローガンは「ぐんまのみらいを一緒に育てる」。子育て期のママに対する支援とアクションが多い状態にして、もう1人産みやすいまちづくりを目指しています。そして、子育てしやすいまちだから移住してくるという流れを作りたい。東京の子育て世代が定住してくれるといいなと思っています。



改修中の子育てサロン「タカサキチ」でお話を伺いました

子連れママが活躍しやすい環境とパパが育児しやすい環境のための舞台とシナリオづくりをしているところです。

具体的な活動内容について

「子連れで学べる」というコンセプトで、ママカレッジを月1回開催してきました。未就学児の子連れママを対象に、健康のことであったり、ママが悩むであろういろいろなことを学べる場を作っています。

また、「子連れであそぶ」をコンセプトに、あそびばプロジェクトも月1回のペースで実施しています。最高の休日と一緒に作ることをテーマ。穴を掘ったり火をおこしたり、公園ではできないようなことを四季折々に合わせて開催し、楽しんでいます。

昨年の3月には、イオンモール高崎で県内最大規模の未就学児子育て支援イベントも開催しました。今後は、もう1人産みやすくするための環境をテーマにアンケートを取る予定です。

目標は、群馬県から日本の未来を担う人たちが輩出されること。子供を育てるなら群馬県と思ってもらえるようにしたいと考えています。



ぐんま男女共同参画センター  
〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12  
TEL: 027-224-2211  
FAX: 027-224-2214  
メール: sankakuse@pref.gunma.lg.jp



子育てサロン「タカサキチ」オープンします

高崎駅の近くの空き家を改修して、ママが活躍できる場をつくりたい。情報通信技術を活用して時間や場所にとらわれずに働く「テレワーク」の場としても活用してもらえば、再就職にもつながると思っています。子連れ期にアクションを起こしたいママを応援する場にしたいですね。

子育て期のパパ・ママに一言

東京にはない里山のすばらしい環境で楽しい休日を過ごすといいと思います。東京の人たちがうらやましいと思うことを群馬の人はあまりやらないからもらった。未就学児を対象に何かしたいことがあったら、ぜひご連絡ください。子育てに優しい地域を一緒に作りましょう。



インタビューコーナーでは、「男女共同参画の実現を目指し、さまざまな立場で活躍している人」を紹介します。